



NEWS

THE TETSUJIN NEWS

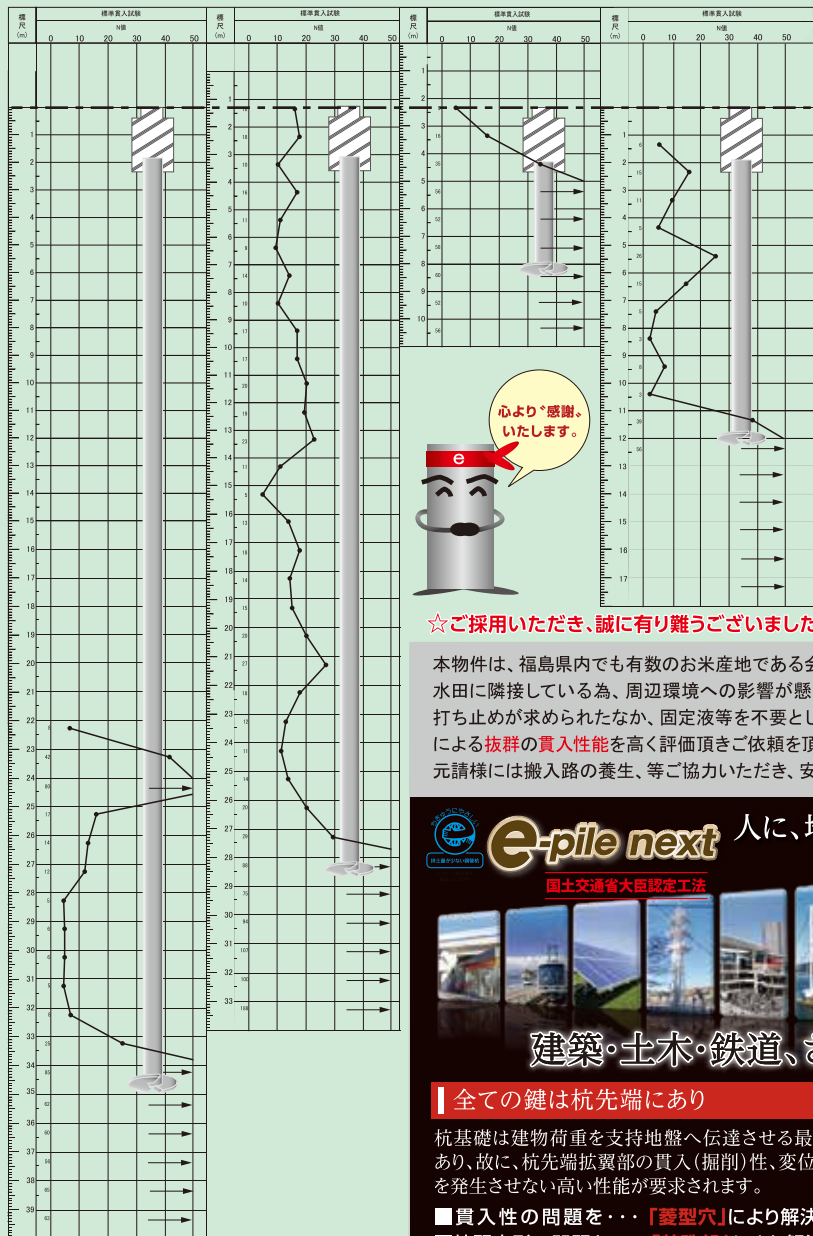
株式会社東部がお届けするインフォメーション・レター

発行所 株式会社東部鉄人ニュース事務局
 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
 TEL.042-764-4128
 FAX.042-762-9593
 編集 鈴木明子
<http://www.tobu21.co.jp>

Vol.74
 2016
 10月号

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

ボーリング柱状図



☆ご採用いただき、誠に有り難うございました。

本物件は、福島県内でも有数のお米産地である会津地方に建設される複合施設新築工事に伴う基礎杭工事です。水田に隣接している為、周辺環境への影響が懸念され、複数有る地盤調査結果より支持層の傾斜や不陸が大きい事で確実な打ち止めが求められたなか、固定液等を不要とした環境性に優れている鋼管杭工法でさらには、e-pile next工法の菱形切削穴による抜群の貫入性能を高く評価頂きご依頼を頂きました。元請様には搬入路の養生、等ご協力いただき、安全且つ工期限内に工事を完了することが出来ました。

実践に強い! 貫入性能No.1 『e-pile next!』

某複合施設新築工事

工事名	某複合施設新築工事
施工地	福島県会津若松市
用途	特別養護老人ホーム、介護保険施設、その他施設
構造	鉄筋コンクリート造(RC)
階数	地下1階・地上2階



- φ355.6mm Dw700・750mm L=8.2m ~ L=34.2m 205set
- φ318.5mm Dw600・700mm L=8.2m ~ L=35.2m 236set
- φ267.4mm Dw500 ~ 700mm L=6.2m ~ L=17.2m 46set

e-pile next 人に、地球に、やさしい再生可能な「循環型杭工法」

国土交通省大臣認定工法



実践に強い! 貫入性能No.1

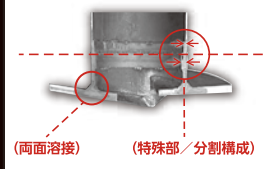
建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

全ての鍵は杭先端にあり

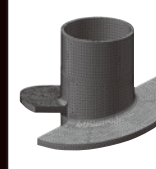
杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端掘削部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を・・・「菱型穴」により解決しました。
- 掘削変形の問題を・・・「特殊部」により解決しました。
- コストの問題を・・・「自社施工」により解決しました。

■高力構造/ 拡翼断面図



■FEM解析図



Tobu, 株式会社 東部

<http://e-pile.com>

■ 本社
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1507-5
 TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971

■ 本店/ 経理室
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1509-4
 TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所
 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 1-1-2
 朝日生命幡ヶ谷ビル 6階
 TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124

■ 相模原機材センター
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1285-1
 TEL.042-785-2812 FAX.042-785-2813



「建設労働者確保育成助成金のご案内」が発行されました。

「建設労働者確保育成助成金」は、建設労働者の雇用の改善、技能の向上をめざす中小建設事業主や中小建設事業主団体等を支援する制度です。建設業における若年労働者を確保・育成し、技能承継を図り、建設労働者の安定した雇用と能力の開発・向上を目的としています。

○建設事業主向け助成コース・助成額一覧（平成28年度） ※詳しくは、厚生労働省のHPをご覧ください。

コース	概要
認定訓練	経費助成 中小建設事業主が職業能力開発促進法による認定訓練を行った場合、経費の一部を助成 賃金助成 中小建設事業主が雇用する建設労働者に有給で認定訓練を受講させた場合、賃金の一部を助成
技能実習	経費助成 中小建設事業主が雇用する建設労働者に有給で技能実習を受講させた場合、経費の一部を助成 賃金助成 建設事業主が雇用する女性の建設労働者に有給で技能実習を受講させた場合、経費の一部を助成 賃金助成 中小建設事業主が雇用する建設労働者に有給で技能実習を受講させた場合、賃金の一部を助成
雇用管理制度	整備助成 職場定着支援助成金（個別企業助成コース）の雇用管理制度助成（制度導入助成及び目標達成助成）の助成を受けた建設事業主が、本助成コースが定める若年労働者の入職率に係る目標を達成した場合に助成
登録基幹技能者処遇向上	整備助成 中小建設事業主が雇用する登録基幹技能者の賃金テーブル又は資格手当を増額改定した場合に助成
若年者及び女性に魅力ある職場づくり事業	経費助成 建設事業主が若年及び女性労働者の入職や定着を図ることを目的とした事業を行った場合、経費の一部を助成
作業員宿舎等設置	経費助成 中小建設事業主が被災三県に所在する作業員宿舎、作業員施設、賃貸住宅を賃借した場合、経費の一部を助成
女性専用作業員施設設置	経費助成 中小元方建設事業主が自ら施工管理する建設工事現場に女性専用作業員施設を賃借した場合、経費の一部を助成

ワンポイント 健康コラム 歯周病対策で健康な歯を!



食欲の秋ですね。ところで、世界で最も患者数の多い病気をご存じでしょうか。

癌や糖尿病など深刻な病気は多くありますが、現代人を悩ませる最も患者数の多い病気は歯周病なのです。

先進国の成人5人に4人は歯周病といわれています。

歯周病は口臭や炎症、歯ぐきの減退、さらには歯が抜け落ちるなどの症状に発展します。

日本人の65歳から74歳の約40%が入歯を使用していると言われてますが、歯を失うのは老化現象だからではなく、大半が歯周病によるものなのです。歯周病の恐ろしさは口の中だけにどまらず、糖尿病や心臓血管疾患、骨粗しょう症、肺炎などは歯周病によって発症リスクが高まることが指摘されています。

また、歯周病は認知症とも関係性があり、認知症が進行する一つの原因であることが分かってきたという研究結果もあります。



原因

歯周病の原因は、歯垢と歯石です。特に歯石は細菌の住みかになるので要注意です。

歯石とは、その名のとおりに歯の周りにつく石のような物質で、成分はプラークと呼ばれる細菌の塊です。

そのプラークが唾液の中のカルシウムやリンなどのミネラル成分と結合し、固まってしまったものが歯石となります。

歯石ができると、そこに細菌が繁殖し、毒素を放出し、これが歯ぐきの炎症や、口腔内の骨を溶かすことで歯周病を招きます。



予防

①1本ずつ丁寧にみがく

でこぼこしているところは歯ブラシを縦にして磨くなどしてきちんと、磨き残しが無いようにしましょう。

②生活習慣の改善で歯周病のリスクファクターを取り除く

喫煙によりプラークが付着しやすくなります。



③歯科医院で診てもらおう

問題が何も見つからなかった場合でも、個人に応じたブラッシング指導を受けたり歯のクリーニングなどが受けられます。

今から歯周病対策をして、一生、自分の歯で美味しく食事ができるといいですね。

経理マンが行く レーシックについて



まだまだ蒸し暑い日が続いています。毎年思うのですが紅葉が年々遅く感じます。日本も温暖化の影響で秋や冬が短くなってしまっているのでしょうか。少し寂しいですね。

さて、最近視力が弱くなり、眼鏡が手放せなくなってしまいました。眼鏡は持ち歩かなければいけないし、コンタクトはケアが面倒。そこで今回は手術で視力を回復させるというレーシックを調べてみました。レーシックとは、角膜をレーザーで削り、角膜のカーブを変えることによって屈折異常を矯正する手術方法の一つです。角膜をレーザーで削る前に、フラップを作ります。フラップとは円形のものふたみたいなもので本人の角膜の表面を、専用の機器で切り、その一部をつなげたままにして角膜からめくります。

その跡をエキシマレーザーと呼ばれる機器で、レーザー照射して角膜の一部を削り矯正して、視力を向上させるわけです。

角膜は5層構造になっていて、光が入ってくる側から順に、角膜上皮層、ボーマン膜、角膜実質層、デスメ膜、角膜内皮層と分かれています。角膜表面にフラップを作る方法をLASIK(レーシック)と呼びます。フラップを作らない方法もありますがこれもレーザーで角膜形状を削って変えるという方法なので、原理はレーシックと同じです。フラップを作る目的は、レーザーで削った部分を保護すること、術後の痛みを少なくし、術後の回復を早めることだそうです。

レーシックのメリットは裸眼で物を見ることを目的とした手術ですから、眼鏡のわずらわしさやコンタクトレンズ装着時の違和感や異物感、乾燥に悩まされている人には、これらが不要になるという大きなメリットがあります。しかし、矯正できる度数には限度があり、高度の近視や乱視の人は十分に矯正できません。また、手術を行う時点で屈折異常を矯正するものであり、近視の進行を止める効果はありません。よって視力の変動が激しい18歳未満は適応になりません。また40歳以上の方は、老眼が始まりますが、レーシックでは老眼を矯正することはできません。レーシックによって遠くを見る視力が向上しても、近くの方が見づらくなる場合があります。

また、手術には合併症やリスクがつきもので、よく理解することが大切です。主なデメリットは、①夜間に視力が低下する ②術後に角膜が変形してしまう ③術後に角膜が混濁する ④ドライアイになる ⑤眼圧測定ができなくなる ⑥正確な白内障手術ができなくなる等です。これらは術後なかなか改善されないものばかりですがあくまでも可能性の話です。レーシックを受ける前には、メリットとデメリットを十分に理解した上で、必ず眼科専門医の診察を受ける必要があります。

眼科専門医とは、日本眼科学会、日本眼科医会の会員であり、眼科手術を含んだ5~6年以上の臨床研修を修了し、専門医の認定を受けた医師の事ですが、眼科専門医を取得しないまま、レーシック専門医を謳って手術を行っている医師もいるのが現状です。

レーシックは保険の適用がきかない手術です。感染予防、術前術後の定期検査などを加味すると、手術の費用は相応にかかるものと考えた場合、安い費用に流されて病院を選ぶ方もいるのも当然ですが、目先の費用だけにとらわれず、自分の目は自分で守る意識として正しい病院選びをすることが大切です。

私は老眼なので、レーシックは無理でした...

